



瀬戸小だより

ふれ合う 認め合う 共に学ぶ 笑顔あふれる瀬戸ヶ谷小学校

mail:y3setoga@edu.city.yokohama.jp <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/setogaya/>

学校だより 1 月号
令和 2 年 1 月 7 日
横浜市立瀬戸ヶ谷小学校
校長 横張 由香子
TEL 713-8336 FAX 713-9749

瀬戸ヶ谷小学校

検索 

本年もよろしくお願ひいたします

校長 横張由香子

横浜は穏やかな日差しに恵まれたお正月となりました。各地でお正月を迎えられた方はいかがでしたでしょうか。

年末にはマーチングバンドが「ミュージックフェスタ in 湘南」に出演しました。広い会場を、移動したり立奏したり工夫して活用し、会場を沸かせてくれました。今回の会場は海老名運動公園総合体育館で、最寄り駅から海老名ジャンクションの下を歩きます。海老名ジャンクションは東名高速道路と首都圏中央連絡自動車道を結ぶ地点で、5年生の愛川宿泊体験学習や、6年生の日光修学旅行の際には通り過ぎたところです。なじみのある景色は高速道路を走行しながら見ていたもので、下から見上げると、頑強な橋脚に支えられて、空中で大きな弧を描き重なり合う力強いものでした。遠くに見える富士山やそれにつながる山々と周りの畑などのどかな風景、通行するときのスピード感ある高速道路、そして見上げるたくましい橋脚。見る地点が変わると、こんなにも印象が違うのだと思いながら会場までの道を歩き、子どもたちの演奏に温められて帰ってきました。

さて、年が明けると私の恒例は箱根駅伝の応援です。今年も多くのドラマと記録が生まれました。実際に応援に出かけられた方もいらっしゃると思います。アナウンサーの熱のこもった解説には4年生の選手に向けて「最初で最後の箱根駅伝」というフレーズが何度も繰り返されていました。20歳過ぎたばかりの選手が、「10年間、この1時間を走るために頑張ってきました」と走り終わった後に息も切れ切れに話している姿には、声援を送らずにはいられません。学校でも、秋から冬にかけて、児童に表彰状をお渡しする機会が多くなりました。その中で、数年にわたって、出品し続けたりチャレンジしたりする姿が見られるようになってきました。高学年になると、これまでの受賞作品を見て、そのコンテストそのもののねらいや意図をつかんで作品に工夫をこらしたり、応募要項を見直して作品の方向性を研究したりしたという話も聞きました。情報過多の時代に、情報を生かし活用する力をつけていってくれることはうれしいものです。そして、続けられること自体が素晴らしい力だと思います。

学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございます。良かった点を認めていただくと、私たちも元気をいただきます。改善点については、時間をかけ知恵を絞って次年度に向けて取組んでまいります。保護者、地域の皆様のいつも変わらぬご支援に感謝しながら、一緒に進んでいかれることはとても心強いことです。登校の見守りをしてくださる皆様も大募集しております。朝のお忙しい時間帯ではありませんが、よろしくお願ひいたします。

大掃除で、子どもたちが育てた華奢なヒマワリと一緒に撮った写真が2枚出てきました。30数年前、瀬戸ヶ谷小学校で担任をしていたころに撮ったものでした。最近、データで保存しておくことが多くなりましたが、一瞬でタイムスリップできる昔ながらの写真もいいものですね。